

月刊 新翔タイムズ

第27号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

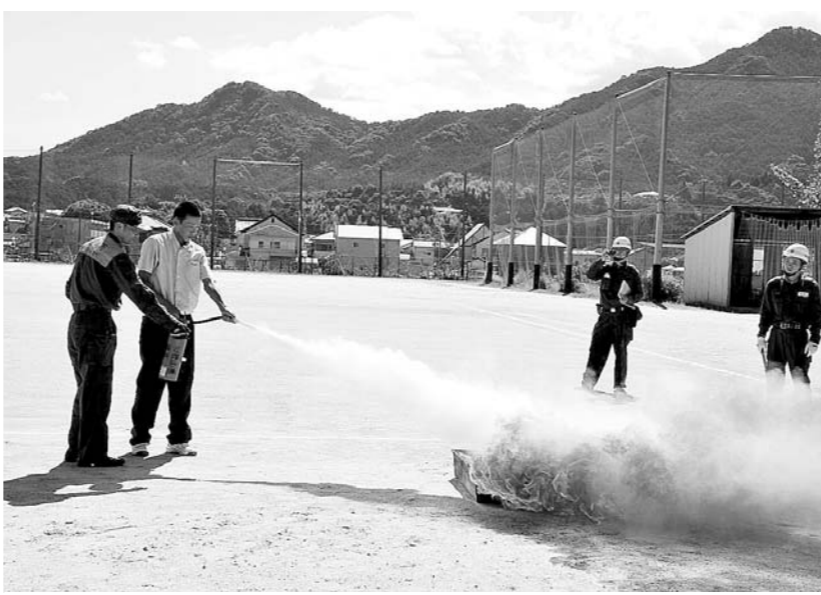
放水・消火・脱出訓練

防災避難訓練を実施

8月31日、新宮市消防本部の協力の下、防災避難訓練を実施した。午後1時30分、緊急地震速報の試験放送が流され、全校生徒がグラウンドに避難。七瀬校長と新



生徒と先生が放水訓練



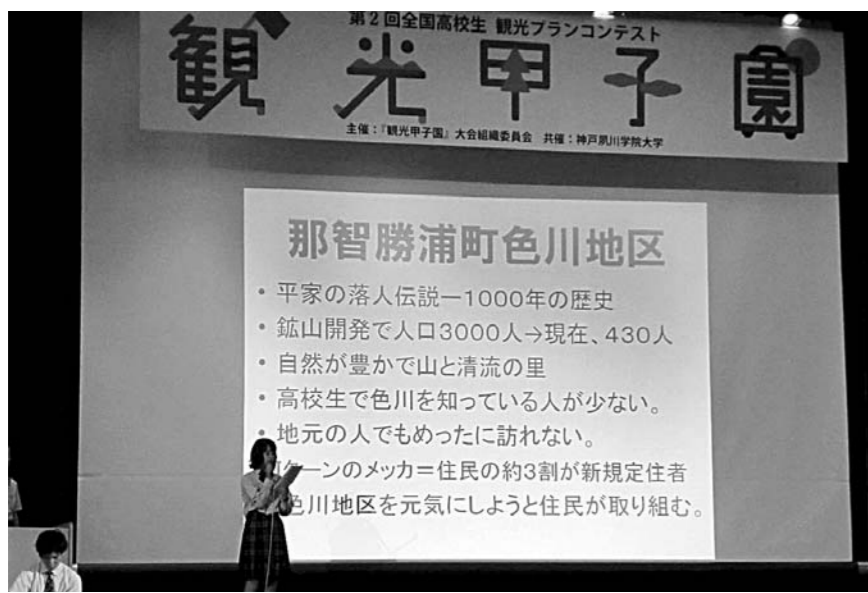
消火器を使った消火訓練



消防車「くもとり」号での避難訓練

6限目は、総合学科棟地上高25階のはしごを保持し、総務課から、最大最新の消防車「くもとり」号を使った避難訓練を全校生徒で見学。生徒会長の引地健太君と副会長西地亮君が屋上からの脱出を体験した。気温

観光甲子園で優秀作品賞 色川をテーマにした観光プラン



プレゼンテーションで解説する3年生的場有蘭さん

地元の人でもめったに訪れない。観光甲子園で日一、国高校生観光甲子園(神戸市開催)で優秀作品賞を受賞した。新規定住者の方が多く住む那智勝浦町色川をテーマにした観光プランが全国で10校に選ばれた。8月29日の本選に出場し、プランを作成した7人の生徒がプレゼンテーションを行った。新翔高校では、学校設定科目「観光業務」の中で、熊野エリア観光推進実行委員会と連携し、地元観光プランを作成している。今年、じゃばらの里北山村プラン、熊野古道プラン、那智勝浦町色川プランの3プランを提出し、色川プランの「どえらかったてい色川」熊野の山里・色川でダブル元

「二十四の瞳 岬文壇エッセー」



本校を今年3月に卒業した保田弥悠(みゆう)さん(18)のエッセーがこのほど、「第8回 二十四の瞳 岬文壇エッセー」(財団法人岬の分教場保存会主催)で見事佳作に選ばれた。保田さんは本校3年生の時、国語科の「総合表現」の授業を選択。本校栗山知子教諭の指導の下、さまざまな文学コンテストなどに作品を応募してきた。このコンテストは国内外から883編の応募があり、三次にわたる選考を経て、この快挙となった。エッセーは、「私のネックレス」という題名で、不登校に陥ってしまった友人がくれたネックレスが、自分にとってかけがえのないものになった経緯を情感豊かに綴ったもの。

卒業生・保田弥悠さんが佳作

看護学校で看護師を目指して頑張っている保田さんは、「勉強は忙しいですが、文章を書くことが好きなので、今後も文章を書いていきたい」と喜びの声を述べた。

二期始業式 干場美幸さんを表彰 国体カヌー競技で3位入賞

8月25日、二期始業式が挙行された。七瀬校長は甲子園春夏連覇を成し遂げた沖繩・興南高校監督の「野球に限らず、どんなことでも『素直さ・謙虚さ・努力』の気持ちで受け持てば、いつかは美を結ぶ」を受けて「目的を達成するために、夢を描き、どんなことも実行することが大事。一つ一つの積み重ねが人間力を高め、将来大きなことを成し遂げることに通ずる」と話した。



式の後、県代表として第65回国民体育大会近畿カヌーで入賞した干場美幸さんを表彰

30度を超える暑さの中で、女子カヌー選手は3位入賞した。3年生の干場美幸さんを表彰した。続いて、神戸市で開催される観光甲子園に出場する3年生7人の壮行会を行った。

登下校指導を実施

育友会役員と運営委員会合同で

第2学期の始業式があった8月25日から27日までの3日間、全職員による登下校指導を行った。今回の指導は、学期開始という重要な時期であり、育友会役員・運営委員の方々が



保護者も参加した校門指導

佐野駅に立つてもらい、登校時のあいさつやマナーアップのための指導に朝早くから協力いただいた。また、今回の指導は、4月当初より生徒の服装・頭髪やマナーについて忠告や苦情を受けており、夏休み中に「再登校指導も含めた厳しい指導方法を記した保護者あての文書を郵送し、始業式でも生徒に文書を配布し、指導の徹底を図った。以上のように、教職員と育友会が一丸となり始業式の朝から登下校指導に取り組んだ結果、始業式には再登校指導が1人化して指導が4人いたが、翌日から0人となり成果が現れた。今後とも引き続き厳しい指導を行っていく必要がある。

先生の紹介 八木 瞳先生



こんにちは。4月から新翔高校に勤めております八木瞳と申します。担当教科は商業科で3年2組の副担任、クラブではバドミントン部を担当させていただいております。また、クラブ活動にも一生懸命取り組んでいる姿を見たり、私自身も勇気をもらっています。私は今年の春に大学を卒業したばかりで、初めて経験することが多く、日々いろいろと悩むことが多いですが、生徒たちや教職員が、生徒たちも助けられ、先生方もも助けられながら努力を重ねています。さて、生徒たちは新学年になり半年が経ちました。夏休みも終わり、2年生は3年次の進路について、3年生は卒業後の将来について考えている最中ではないでしょうか。私も高校時代は進路、将来について悩んでいました。悩んだ時間があつたからこそ、納得した自分があると思います。だから、これから生徒たちにも、自分の将来について悩む、自分の可能性を信じて、残りの学校生活を送ってほしいと思っています。また、私の今までの人生は多くの人に支えられてきました。それが、両親であったり、友達であったり先生です。これから生徒たちもいろいろな人と関わっていきます。その中の一人として、将来生徒が高校時代この先生に出会えてよかった、と思ってもらえるような教師を目指していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

県高校生防災スクール



防災紙芝居を披露する生徒ら

2、3年生26人が参加

8月19日、串本古座高「搬送法」について講習校申本校舎で「平成29年度和歌山県高校生防災スクール(東牟婁会場)」が行われた。本校からは「総合的な学習の時間」のキャリアアップの一つとして、参加した2年生19人と「防災デザイン」を選択している3年生7人の計26人が参加した。東牟婁振興局の矢口氏が「東南海・南海地震とその防災対策」と題して講話した。防災実技講習として、串本町消防本部の方から「心肺蘇生法」、自衛隊の方から「ロープワーク」、串本古座高校の生徒から講話した。閉会式では、本校からの参加者を代表して2年1組の炭蔵成介君が防災スクール講習認定証の授与を受け、終了した。

クラブ紹介

ソフトテニス部は、ほしいと思います。練習は基本的には毎日あり、炎天下や強風の中でも行います。決まっていますが、男子部員が多く活気がありますが、ペアの相手やチームメイトとともに練習することで、自分を鍛え、相手を思いやる心が鍛えられるようになります。ソフトテニスを通して技術だけでなく、心身ともにたくましく成長することがクラブ活動の目標です。



ソフトテニス部

新翔高校は、OBやOGの方々が、休日に練習を見に来て下さっています。その方々との練習を通して、技術

の向上はもちろんなのですが、次の高校総体の係の培い方も学ぶことができます。現在は、来る10月末11月上旬に日置川で行われる県新人大会に向けた練習に励んでいます。